
遊戯王 NX

ryutorz

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

遊戯王 NX

【Nコード】

N1005K

【作者名】

ryutorz

【あらすじ】

遊戯王GXの二次創作です

キャラは完全オリキャラです
オリカもバンバンだしてんでw

一話前編

「やっと着いたぜ」

といい、建物を見上げた。

今日は入学式。

三年間寮生活のデュエルアカデミア関東支部に今日入学する。
自己紹介してなかったが俺は、沼田遊里だ。
遊里って名前だが一応男だぞ。

クラスはまさかのオシリスレッドだった。

寮に向かう途中、

「君もオシリスレッド？」

と、明るい女性に話かけられた。

「そうだけど君も？」

と、聞いてみると

「そうだよ！私仲村唯って言っただ。これからよろしくね！」

「俺は沼田遊里。よろしく」

軽く挨拶し、寮に向かう。

「遊里くんってどんなデッキ使うの？」

「そのうちわかるよ」

あのデッキのせいでオシリスレッドになったと思われる。

「えー。なにそれ」

「とにかくやるまで秘密」

「えー。いいじゃん。まあいいか、ここであってんの？」

話してる間に寮？らしき建物に着いた。

「あ、あってんじゃない？」

ただ、非常にぼろいだけだと思う。

「まじで？私やだよこんな寮」
「俺もやだし。ああ、こんな寮になんなら入試であんなデッキ使わなきゃよかったorz」
ワンキルしたけどね。
「そんなひどいデッキなの？」
「まあね運よけりや、一ターンで、相手のデッキが消えるw」
「なにそれ？今デュエルしない？」
「いいよべつに」

「「決闘！！！！」」
「先攻は遊里でいいよ」
「じゃもうらうよ。俺のターンドロ」
手札を見た。《D・D・ダイナマイト》が二枚と《魂の解放》と《手札抹殺》と《ニードルワーム》が二枚。
「カードを二枚セットしてモンスターをセットし《手札抹殺》発動
！！！！」
「いきなり？ひどっ」
手札をすて二枚ドロした。
「ターンエンド！」
「わ、私のターンドロ」
唯がドロした瞬間、唯に笑顔が戻った。
「事故ったと思ったらワンキルできたよ」
え？
「まじで？」
「マジで。私は《未来融合フューチャーフュージョン》発動！」
え？
「《キメランティックオーバードラゴン》を2ターン後召喚するわ融合素材は18枚だから攻撃力は9000ねw」

は？

なにがしたいんだこいつは？

「そして私は《サイバーエルタオン》を特殊召喚！」

《サイバーエルタオン》

ATK10500

「効果で伏せてあるモンスター破壊！

ニードルワームとか怖っ」

ラッキーじゃね？

「リバースカードオープン！《D・D・ダイナマイト》二枚発動！」

唯のLP 8000↓0

12300ダメージwwww

「勝っちゃったwww」

「え？嘘でしょ？」

俺も棚ぼたですよw

「ワンキルってこういうことだったんだw」

唯は顔を赤くしてこう言った。

「うるさい！たまたまでしょ！もう一回！！！」

「「決闘！！！」」

「次は先攻もらうわ。ドロー

私は《手札断殺》を発動するわ」

二枚墓地に送り二枚ドロー

「さらに《無の煉獄》発動！

ドローしてカードを二枚セットしてターンエンド

私はエンドフェイズ時に手札を全部捨てるわ」

「俺のターンンドロー

俺はモンスターとリバーズカードを二枚伏せターンエンド」

「私のターンンドロー。

私は《魂の解放》を発動

私の墓地のカードをごまみ除外するわ！

そして《異次元からの帰還》発動！

《V》《W》《X》《Y》《Z》を特殊召喚！」

なるほどね。

「私は効果で《VW》と《XYZ》を召喚し、効果で《VWXYZ》を特殊召喚！」

ヴィトズイを二ターンで召喚とは中々やるな。

「効果で伏せモンスターを除外」

「そのとき伏せてあった《ネクロフェイス》の効果を発動！
お互いのデッキからごまみ除外！」

「なんでえゝ？」

「俺のデッキひどいでしょ？」

「死ねばいいと思う」

唯のほうがひどかった。

「ダイレクトアタック」

遊里 Lp 8000 ↓ 5000

「リバーズカードオープン！

《ヘルテンペスト》」

「え？」

「お互いのデッキと墓地からモンスターカードを全部除外するぜw」
「が、ガチですか？」

「ガチですよw」

お互いデッキと墓地からモンスターを除外した。

「うう」

「あ、あとの《ネクロハンド》が三枚除外されたからデッキの上から三枚除外ねw」

《ネクロハンド》

星2 ATK/DFE500 闇 アンデット族/チューナー

このカードがゲームから除外去れたら、お互いのデッキの上から一枚除外する

「もうやだあ。デッキあと八枚しかなくなっちゃったあ。

ターンエンド」

「俺のターンドロー!!!」

《D・D・R》だった。

「俺は、手札を一枚すて《D・D・R》発動！

《ネクロハンド》を特殊召喚」

「またでたよ。もう辞めて遊里！私のデッキは残りわずかよ!」
しるかよw

「《リビングデッドの呼び声》発動！

《ネクロフッド》を特殊召喚」

《ネクロフッド》

星2 ATK/DFE0 闇 アンデット族/効果

召喚又はリバースされたときデッキから「ネクロ」とつくレベル4以下のアンデット族を手札に加える

「今度は何すんの?」

「まあ見てろって

《ネクロボディ》を召喚!!」

《ネクロボディ》

星3 ATK 600 DFE 1200 闇 アンデット族/効果

このカードが召喚に成功したとき、除外されてるレベル4のモンスターを特殊召喚できる。この効果で特殊召喚されたモンスターの効果は無効化される。

「俺は《ネクロボディ》の効果で《ネクロフェイス》を特殊召喚
そしてシンクロするぜ!」

「まだ終わらないのお?もうやだあ」

「悪を滅ぼす糧となれ!シンクロ召喚!!いでよ《究極破壊神
ネクロ・ソルジャー》」

《究極破壊神 ネクロ・ソルジャー》

星11 ATK1500 DFE2100 闇 アンデット族/シンクロ

このカードはシンクロ召喚以外の特殊召喚はできない

「ネクロハンド」+チューナー以外の闇属性モンスター3体以上

このカードは、自分のデッキの一番上と墓地のカードを一枚ずつ除外しなければ攻撃できない。

このカードが戦闘ダメージを与えた場合相手のデッキの上から5除外することができる。

このカードの攻撃力はお互いの除外されてるカード一枚につき100ポイントのアップする。

このカードは魔法・罠カードの対象になると破壊される

「なにそれ?ひどくない?」

「ひどくない」

《究極破壊神　ネクロ・ソルジャー》の攻撃力6300

「バトル！《ネクロソルジャー》で《VWXYZ》を攻撃！
攻撃するさいにデッキトップと墓地にある《ネクロフェイス》を除
外！」

《究極破壊神　ネクロ・ソルジャー》の攻撃力7500

唯のLp　8000↓3500

「ひえっ」

唯のデッキが0枚になった

「俺の勝ちだな」

「遊里のデッキ最悪！！！」

「ごめんごめんw」

何故謝ってんだろう。

気が付いたら観客が5、6人いるし。

一話中編

場所は代わって寮の部屋。

ちなみに唯は隣の部屋だった。

同居人がいるらしいが、まだ来てない。

「当分このデッキは使わないでおこう」

と除外デッキは封印？した。

ちなみにデッキはもう一つあるから問題ない。

その時、

コンコン

とノックする音が聞こえた。

「どうぞー」

ガチャ

「あのお、この部屋で同居することになった田口貴之といいます。
よろしくです」

「俺は沼田遊里だ、よろしくな」

「さっそくだけでもデュエルしない？」

「いいね！やろうか」

「「決闘！！！」」

「田口くんからでいいよ」

「じゃドロー」

田口くんは手札を見て悩んでる。「僕は《アーシー・パスワード》を
召喚！」

《アーシー・パスワード》

星4 ATK1800 DFE800 地 戦士族/効果

このカードが召喚に成功したとき「アーシー」とつく星以下の4戦士族一体を特殊召喚することができる。

「《アーシー・パワード》の効果で《アーシー・ガーダー》を守備表示で特殊召喚」

《アーシー・ガーダー》

星3 ATK700 DFE2000 地 戦士族/効果

このカードがフィールド上に存在するかぎり、このカード以外の「アーシー」とつく戦士族モンスターは戦闘では破壊されない（ダメージ計算は適応する）。

このカードが戦闘を行った次の自分ターンのスタンバイフェイズにこのカードの表示形式を変更する。

「リバースカードを二枚伏せターンエンド」

「俺のターン、ドロー」

手札から《空の歌姫キズミ》を特殊召喚！」

《空の歌姫キズミ》

星6 ATK2300 DFE1500 風 魔法使い族/効果

相手のフィールド上のモンスターが自分フィールド上のモンスターより2体以上多い場合、特殊召喚することができる。

自分フィールド上のモンスターを一体リリースすることで「空」とつくモンスターを対象にする、カードの効果を無効にし破壊する。このカードはシンクロ召喚のための素材にできない。

「さらに手札から《空の狩人リエホ》を召喚！」

《空の狩人リエホ》

星3 ATK1400 DFE800 風 天使族/効果

このカードがリリースされたときデッキから一枚ドロウする。
相手カードの効果によりリリースされたら3枚ドロウすることができる。

「カードを二枚伏せて、バトル！」

《空の歌姫キズミ》で《アーシー・ガーダー》を攻撃！」

「そうわせない！リバースカードオープン！《和睦の使者》」

「ちっ。まあいいか、ターンエンド」

「じゃ僕のターン、ドロウ」

貴之が笑った。

「僕はフィールド魔法《独立国アーシー》を発動するよ！」

《独立国アーシー》

フィールド魔法

このカードがフィールド上に存在するかぎり、「アーシー」と付かないモンスターが召喚・反転召喚・特殊召喚に成功したとき、Eカウンターを一つ置く。

Eカウンターが5つ乗ったモンスターは破壊する。

このカードは1ターンに一度、フィールド上のEカウンターを2つ取り除くことで破壊されない。

「さらに《アーシー・シヨキ》を召喚！」

《アーシー・シヨキ》

星3 ATK1000/DFE300 地 戦士族/チューナー

このカードはフィールド上のEカウンターを取り除くことで、一つにつき星を一つ上げることが出来る。

星が一つ増えるたびにこのカードの攻撃力は300上がる。

「そして俺は《不発弾・E》発動！」

《不発弾・E》

通常魔法

フィールド上のモンスターにEカウンターを一つ置く。
墓地にあるこの同名カード一枚につきさらに一つ置く。

「僕は《空の狩人リエホ》にEカウンターを一つ置きそれを取り除くことで、《アーシー・シヨキ》のレベルを一つ上げるよ
そして《アーシー・シヨキ》と《アーシー・パワード》をチューニング」

「えっ？いきなり？」

「戦争を終決させる鍵となれ！シンクロ召喚！いでよ《アーシーナイト・カゼコット》！！！」

《アーシーナイト・カゼコット》

星7 ATK/DEF0 地 戦士族/シンクロ

このカードは戦闘では破壊されない。

このカードでのプレイヤーへのダメージは0になる。

このカードと戦闘を行ったモンスターはそのモンスターの星の数、Eカウンターを置く。

このカードはシンクロ召喚以外の特殊召喚はできない。

「バトル！《アーシーナイト・カゼコット》で《空の歌姫キズミ》をこう……」

「リバースオープン！《風霊術・「雅」》を発動！

《空の狩人リエホ》をリリースし《アーシーナイト・カゼコット》をエクストラデッキに戻すぜ！

そして効果で1ドロー」

「くっ

ターンエンドだ」

「俺のターンドロー！
俺は手札から《空の声》を発動！」

《空の声》

通常魔法

ライフを500払うことでレベル4以下で風属性の「空」とつくモンスターを手札に加えることができる。

「500のコストを払い《空の狩人リエホ》を回収し手札から召喚する」

遊里 Lp 8000 ↓ 7500

「バトル！《空の歌姫キズミ》で《アーシー・ガーダー》を攻撃！
「くっ」

「さらに《空の狩人リエホ》でダイレクトアタック！」

貴之 Lp 8000 ↓ 5000

「うわああああ」

「リバースカードを一枚伏せターンエンド！」

「ぼ、僕のターンドロー。」

僕は《戦争の傷痕》発動！」

《戦場の傷痕》

通常魔法

「アーシー」とついたモンスターを一体リリースするか手札から「アーシー」とつくモンスターを一枚すて以下の効果を発動する。

●リリースした場合：そのモンスターの星の数フィールド上のモンスターにEカウンターを置く。

●手札を捨てた場合：そのモンスターの星の数の半分（元々の星の

数が奇数の場合プラス1個数から)のEカウンターをフィールド上のモンスターに置く。

「俺は《アーシーパワード》を捨て《空の歌姫キズミ》に二つEカウンターを置く

そして、Eカウンターを一つ取り除き手札から《アーシー・ウォーリアー》特殊召喚」

《アーシー・ウォーリアー》

星5 ATK2100/DFE1500 地 戦士族/効果

フィールド上のEカウンターを一つ取り除き手札から特殊召喚出来る。

このカードの効果で特殊召喚された場合、このカードをエンドフェイズに破壊する。

「アーシー・ウォーリアー」はフィールド上に一体しか存在できない。

「そして僕は、《アーシー・シヨキ》を召喚し、シンクロする」
「またかよお」

「いでよアーシーの最後の希望!《アーシーキング・テノウン》をシンクロ召喚!」

《アーシーキング・テノウン》

星8 ATK3000/DFE2100 地 戦士族/シンクロ

アーシーとついたチューナー+チューナー以外のアーシーとついたモンスター1体以上

このカードがシンクロ召喚に成功したとき相手フィールド上に存在するモンスターにEカウンターをそのモンスターのレベルの数置く。相手がモンスターを召喚、反転召喚、特殊召喚に成功した時、Eカウンターを二つ置く。

このカードは魔法、罨、モンスターの効果の対象にすることはできない。

このカードはシンクロ召喚以外の特殊召喚はできない。

「アーシーキング・テノウン」はデュエル中一回しか攻撃宣言を行うことができない。

「くそ、風霊術つかえないやん」

「《空の歌姫キズミ》と《空の狩人リエホ》は《独立国アーシー》の効果で破壊！

そしてバトルフェイズに入る」

くそ、

「《アーシーキング・テノウン》でダイレクトアタック！！！」

「うわあああああ」

「ターンエンドだ」

優里 L p 7 5 0 0 ↓ 4 5 0 0

一話後編

俺はどうすればいいんだ。

「俺のターンンドロー」

引いたカードは《大嵐》

「手札から《大嵐》を発動！」

とにかく《独立国アーシー》は破壊した。
どうすれば……。

とにかくこのターンは守りを固めなければ。

「俺はモンスターをセットしエンド」

くっこのままじゃ負ける。

「ドロー」

「《アーシー・パワード》召喚！

バトル！セットカードに攻撃！」

セットカード：《空の番人ヒヤラアノ》

《空の番人ヒヤラアノ》

星3 ATK1000/DFE2000 風 天使族/効果

このカードが召喚に成功したときに墓地から守備力が1000以下のモンスターを守備表示で特殊召喚する。そのモンスターの効果は「このカードは表示形式を変更できない」となり元々の効果は無効化される。

「くそっ

ターンエンドだ」

貴之LP5000↓4800

「俺のターンンドロー」

頼むなんか来てくれ

《A・ジェネクス・バードマン》穴埋めで入れてたが地味に使えたな。

「俺は《空の番人ヒヤラアノ》を手札に戻し、《A・ジェネクス・バードマン》を特殊召喚し、《空の番人ヒヤラアノ》をまた召喚！効果で《空の狩人リエホ》を特殊召喚！」

「まさか、シンクロするき？」

「そのまさかだ！」

行くぞシンクロ召喚！《空の女神ナヤサ》」

《空の女神ナヤサ》

星9 ATK2900 / DEF2500 風 天使族 / シンクロ
チューナー+チューナー以外の「空」とつくモンスター2体以上
このカードがシンクロ召喚に成功したらフィールド上のカードを二枚破壊する。

このカード以外の「空」とつくモンスターをリリースすることで魔法・罫・モンスター効果を無効にし破壊する。

このカードがフィールド上から離れたとき墓地にいるチューナー以外の「空」とつくモンスターを一体特殊召喚する。

このカードはシンクロ召喚以外の特殊召喚はできない

「だが《アーシーキング・テノウン》の攻撃力には勝てないし効果の対象にならないよ」

「《アーシー・パワード》とリバースカード破壊

かまわねえ《空の女神ナヤサ》で《アーシーキング・テノウン》に攻撃！」

「お前はあほかw」

「ダメージステップ入るぜ！」

「え？」

「《ライフ》の効果発動！」

《ライフ》

星4 ATK1000 / DFE1900 風 天使族 / 効果

このカードは1ターンに一度フィールド上に存在時に手札に戻すことができる。

自分フィールド上の風属性モンスターが行う戦闘のダメージステップ時にこのカードを手札から捨てることで、エンドフェイズまでそのモンスターの攻撃力は、戦闘を行うそのモンスターの攻撃力分アップする。

「《ライフ》を捨てることで《空の女神ナヤサ》の攻撃力は5900になる！」

《アーシーキング・テノウン》を破壊！」

「うわあああああ」

貴之 Lp 4800 ↓ 1800

「だが、まだLpは1800ある」

「それはどうかな！」

「なに？」

「《サンダー・ブレイク》発動！」

対象は……」

「まさか……！？」

「そのまさかだ！」

対象は《空の女神ナヤサ》！」

「墓地にいる《空の歌姫キズミ》を特殊召喚！」

「リバースオープン《強制脱出装置》……！！」

「げっ。まじかよ」

「危なかったあ」

くっ。次こそ終か？

「エンドだ」

「俺のターンドロー！」

リバースカードをセットし《アーシー・ガンナー》を召喚！」

《アーシー・ガンナー》

星3 ATK1000 / DFE200 地 戦士族 / 効果

自分のメインフェイズに発動できる。

手札を一枚捨ててコイントスをする。表だった場合相手フィールド上のカードを一枚破壊する。

裏だった場合このカードは守備評価になる。

この効果は一ターンに一度しか使えない。

「効果は使わないよダイレクトアタック……！」

「くっ」

遊里 Lp4800 ↓ 3800

「ターンエンドだ」

「俺のターン。ドロー」

「俺は《空の平民リマーナ》を召喚する。」

《空の平民リマーナ》

星4 ATK1650 / DFE0 風 天使族 / チューナー

このカードがリリースされた場合自分フィールド上に守備表示で特殊召喚する。

相手のカードの効果でリリースされた場合さらに墓地からもう一体モンスターを特殊召喚する。

「バトル！」

《空の平民リマーナ》で《アーシー・ガンナー》を攻撃！」

通ったか。

「くっ、リバースオープン！」

《命の綱》発動！《アーシー・ガンナー》復活！」

「マジかよ、ターンエンド」

貴之Lp1800↓1150

「ドロー、

カードをセットしバトル！」

《アーシー・ガンナー》で《空の平民リマーナ》を攻撃！」

「リバースオープン！《風霊術・「雅」》

《空の平民マリナ》をリリースし、《アーシー・ガンナー》をデ
ツキの一番下に戻すぜえ！

そして《空の平民マリナ》復活」

「くっ、ここまでか、ターンエンド」

「俺のターンドロー！」

《空の平民マリナ》をリリースし、《邪帝ガイウス》をアドバン
ス召喚！

効果でリバースカード除外！」

「チェーン発動《砂塵の大竜巻》、リバースカードを悪あがきだけ
と破壊」

「そういうの嫌いじゃないぜ！《邪帝ガイウス》でダイレクトアタ
ックッック！」

「うわあああああああああ」

貴之Lp1150↓0

「遊里君強いね」

まあね。

「貴之も強いから大丈夫だよ」

実際負けそうになったし。

「そついや10時から実力テストじゃなかったっけ？」

……。

いまなんじ？

…… 10時3分。

「「やばい、いそがねえと」」

初日から遅刻かいw

デュエルしてたのが悪いが。

準備して部屋から出ると。

「やばい遅刻だ！」

唯、だ。

「お前、初日から遅刻とかやるな！」

「おまえには言われたくない。そつちの子は、同室の子？」

「そうだけど、おまえ同室の野郎に見捨てられたんだなwっ」

「違うわ！そもそも同室に人いないし！」

「そうなんだ、っーか時間やばくね」

三人は校舎に全力疾走した。

一話後編（後書き）

ついに一話を書き上げたぜい

感想待ってるよー

二話前編（前書き）

あー

誰か

グラディアルビーストの対策教えてえ

二話前編

……。

10時25分。

「何故、初日から遅刻した」
正座させられてた。

「「「すいません」」」

「謝らんでいい！理由を言え」
俺と貴之は、

「「デュエルしてました」」

といい、唯は

「寝てました」

といった

「まあ今回は許すが次回以降は補習があるから気をつけるように」
「「「はい」」」

「寝てたってなんだよwww」

「うるさいなあ」

顔をあかくして言った。

「二人とも喧嘩はやめなよ」

実力テストらしんだが、今は控室(?)で待たされている。

「クラスって主にデッキ構成で決まったらしいよ」
と貴之がいい始めた。

「なるほど、だから唯はオシリスレッドなのか」

「黙れカス」

言葉遣い悪っ。

「つーか貴之と俺はなんでオシリスレッドなんだろ」

「それは、なんか僕は変なロックバーンで入試受けたから」
なるほど。

「だから除外デッキでいった俺もオシリスレッドか」

「私はなんなのよ」

「黙れファンデッキ」

「VWXYZをファンデッキとか言わないでよ」

唯が切れた。

「私が小さかったときに、そうこのデュエルリスクを作った海馬さんにこのデッキレシピを貰ったのその時、『俺は遊戯に勝てなかつが君の力でこのデッキを強くしてくれ』ってM&Wを始めたばかりの私なんか……。」

「で、お前はそのデッキを作ったのはいいが海馬のデッキのまま使ってるのか」

「うん」

「甘えるな」

「へ？」

「海馬はつよくしろっていつてお前に渡したんだろなら改良しろよ」

「したよ。VWが出たから青目三枚と融合三枚抜いてVW入れたよ」

「それだけか？」

「うん」

「甘えるなっ。デッキ見せろ。」

「はい」

……。

「プリズマーは？」

「へ？」

「《E・HEROプリズマー》をなんで入れないんだ」

「必要ないじゃん」

「おまえはアホかつ。例えば、Yが墓地にいるときにプリズマーで、Xを選択して、ゲットライド！発動とか出来るし」

「なるほど」

「あと、マシンナーズ・ピースキーパーとか、機甲部隊の最前線とか」

「なんで？」

「シャインスパーク入ってるからフロントラインを三枚発動しとくとXYZをすぐだせる」

「なるほど。」

「プリズマーを二体出せば早いんだけどね」

「そこは一ターンプリズマーをどうやって保護するかだよな」

「海馬のデッキだし亜空間物質転送装置入ってるじゃん」

「あ、そうだった。遊里って意外に構築上手いんだね」

「てめえが下手なだけ」

「ひどおい」

と、殴られた。

「田口、田口貴之。お前の番だ」

「あ、はい。いってくんね」

といい、走っていった。

「あいつはオベリスクの強いやつと当たらない限り勝たろうな。」
多分ね。

「そついや遊里ってデュエルしたんだよね？勝ったの？」

「ぎりぎりね」

「あの除外デッキを追い詰めるなんて……。なかなかやるね」

「いやいや、違うデッキ使ったんだ」
「そういや言っでなかったな。」
「へえ〜。戦ってみたものだね」

「沼田遊里、次はお前だ」
「はいは〜い。んじゃ行っでくんね」
「いつてら〜」
「どんなやつだろな、相手。」

「「よろしくお願いします」」
「相手はオベリススクブルーの生徒だった
お互いにデッキをカットしてるときに、
「俺のラーは下に沈んでることを祈るんだなw入って無いけどw」
とか、言ってる。
気持ち悪っ。」

「「デュエル！」」
「先行はそっちからでいいぜ」
「と相手がいう。」
「んじゃ先行ドロ〜！」
「リバースカードを二枚セットしてモンスターセットし、ターンエンド」
「まずは様子見でセットしとこう。」
「俺のターンドロ〜！」
「相手は手札を見て笑ってる。」
「「ゴメンw手札がごめんなさいって言ってるwww」」

気持ち悪つつつ。

「カードを三枚セットして、《ダーク・グレファア》召喚w
そして、手札の《インフェルニティ・ネクロマンサー》を墓地に送り、《インフェルニティ・デーモン》を落とすようwww」
ひいひい。

喋り方とデッキのウザさが比例してる。

「エンドするよお」

次のターンにどうかしないとまずい。

「ドロー」

よし、《因果切断》がきた。

三積みなめんなあ。

「カードを一枚セットして、セットされてる《空の狩人リエホ》をリリースし《邪帝ガイウス》をアドバンス召喚！

そしてセットを、その真ん中のやつを除外！

そして《空の狩人リエホ》の効果でワンドロー。

バトル。ガイウスでグレファア攻撃！

「リバーズ発動だよん《次元幽閉》！」

「ちっ。エンドだ」

「ドローするよ」

グレファアの効果でデーモン捨てて、ネクロマンサー落とすよお。

そして《インフェルニティ・ビートル》召喚。

そしてリリースして、二体特殊召喚するよお

そして《インフェルニティ・ガン》発動お。リリースしてデーモ

ンとネクロマンサーを特殊召かあああああん

デーモンの効果でガン持つてくるよおおお

よし！今だ。

「リバーズ発動！《因果切断》。選択はデーモンで」

相手はチェーンしなかった。

「いやああああ。ターンエンド」あつ、攻撃されてへん。

「ドロー。カードを一枚セットして《空の平民リマーナ》召喚。

バトル！《インフェルニティ・ビートル》に攻撃」

きもいやつのLp8000↓7550

「エンドだ」

「ドロー、《インフェルニティ・ビートル》と《インフェルニティ・ネクロマンサー》シンクロしようよおお、《A・O・Jカタストル》」「リバーズ発動！《風霊術「雅」》エクルトラデッキに戻れ」
「いやあああああ。」

「《空の平民リマーナ》の効果で守備表示で特殊召喚」
「ワンセットでエンドおお」

デーモン除外しただけでここまで死ぬとは、インフェルニティも腐ったもんだな。

「ドロー。」

《空の平民リマーナ》をリリースし《風帝ライザー》をアドバンス召喚。リバーズをデッキトップに！！！！

そして《空の平民リマーナ》を守備表示で特殊召喚！」

一応次のターンは安全だな。

デーモンを引かれる前にどうにかしないとまずい。相手ハンドレスだし。

「バトル！ライザーで、ダイレクトアタック！！！！」

「うわあああああ」

きもいやつのLp7550↓5150

「ターンエンドだ」

このままパワー押しすれば勝てるハズ。

「ドロー、セット、エンド」

こいつやるきねえええ。

「俺のターン！ドロー！！」

《空の歌姫キズミ》かトリシューラをとりあえず防げる。

「《空の平民リマーナ》をリリースし《空の歌姫キズミ》をアドバンス召喚

「バトル！ライザーでダイレクトアタック！」

「《次元幽閉》」

もはやカード名しか言っていないし。

「くっ。構わん、《空の歌姫キズミ》でダイレクトアタック」

「もうやめてええってっててええ」

気持ち悪っ。

きもいやつのLp5150↓2750

「エンドだ」

「ドロー。」

スタンバイ、

メイン、

《インフェルニティ・リローダー》召喚。効果起動。ワンドロー。

《インフェルニティ・ガン》なので500ダメージ」

遊里Lp8000↓7500

「ガンをリリースし《インフェルニティ・ビートル》と《インフェルニティ・ネクロマンサー》特殊召喚

ネクロマンサーでさらに《インフェルニティ・ビートル》復活」

何やるんだよ。

「シンクロ、《ゴヨウ・ガーディアン》……！ハハハハハ……！私を舐めるでない。」

ゴヨウごときで復活してるし。

「バトル！ゴヨウで《空の歌姫キズミ》を攻撃……！」
くっ。

遊里 Lp7500↓7000

「さらにキズミを特殊召喚し、ビートルで《空の平民リマーナ》を撃破！」

「断る」

「いやいや、普通に破壊いい、そしてエンドー」

どないしましょ。《ライフ》つかつときゃよかった。

手札2

セツト2

「かまわねえドロー。」

《空の番人ヒヤラアノ》がきた。「リバーズ発動《空の援軍》！！」

《空の援軍》

通常罾

墓地の「空」と付くモンスターを除外することで、そのモンスターの星以下の「空」と付くモンスターをデッキから特殊召喚する。

この効果で特殊召喚したモンスターの効果は無効化され、エンドフェイズに破壊される。

「俺は《空の狩人リエホ》を除外し、デッキから《空の商人サユカイ》を特殊召喚！」

《空の商人サユカイ》

星2 ATK900/DFE200 風 天使族/効果

このカードがリリースされた場合星3以下の「空」と付くモンスターを手札に加える。

相手のカードの効果でリリースされた場合星4以下のモンスターを手札に加える。

「そして、手札より《空の番人ヒヤラノ》を召喚！

効果で《空の平民リマーナ》を特殊召喚！」

「まさか……？」

そのまさかだよん。

「シンクロするレベル9出すのは《空の女神ナヤサ》でバトル。ナヤサでゴヨウを殺したい」

きもいやつのLp2750↓2650

「いやああああ」

「エンドで」

危なかったあ。

相変わらずハンドレスのあいつだが《因果切断》はまだデッキの奥底風霊術でどうかなるか？

「ドロー、弾いたぞデーモン！」

「まじすか？」

「まじすよ。デーモン特殊召喚効果で《インフェルニティ・ガン》を手札に、そして発動！リリースし《インフェルニティ・ネクロマンサー》と《インフェルニティ・ビートル》を墓地から特殊召喚！」

「リバース発動《風霊術「雅」》

《空の女神ナヤサ》をリリースし《インフェルニティ・デーモン》をデッキの一番下へ！

そして《空の歌姫キズミ》を特殊召喚……！！

ちなみに《因果切断》のコストでキズミを墓地に送ったのさw」

「いやああああああああ」

構わないネクロマンサーでビートル復活しバトルフェイズ、キズミでキズミを攻撃！」

「ダメステ入るよ。」

「え？」

「手札より《ライフ》の効果起動……！！」

「え？マジで？いやああああ」

きもいやつのLp2650↓350

「《インフェルニティ・ネクロマンサー》と《インフェルニティ・ビートル》を守備にしエンド」

また死んでるし。

「ドロー」

《因果切断》くんの遅いし。

「バトル《空の歌姫キズミ》で、攻撃表示の《インフェルニティ・ビートル》破壊」

きもいやつのLp350↓0

「はい、そこまで。」

沼田君は明日から1Aクラスで授業を受けること。

今日はここで終わりだ。帰ってよし。」

と、先生が言った。

「は、はい。」

これ、クラス分けだったんだ。

とか考えてると、きもいやつが

「なんでオシリスレッドなのにこんなに強いんだ……。」

2年のオベリススクブルーなのにいいいい

こんなオシリスレッドに負けるとは……。

いやああああああああ。」

きもつ。

「先生。あれ、どうします？」

とか、聞いてみたら、

「ほっとけ、あんな精神力がないやつはラィイエラーに落とすからww。」

おい、木村！！！」

「な、何ですか？」

「お前は明日からライエローだ。いますぐ寮に帰って荷物纏めろ」
「いやあああああ。」

あいつ、ちょっとかわいそうだったなWWW

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1005k/>

遊戯王 NX

2011年10月5日21時04分発行